

よびごえ



浄土真宗

仏光寺派
光明山
光善寺

〒915-0802
越前市北府2丁目
2-18

われ必ずしも正にあらず
かれ必ずしも愚にあらず
ともにこれ凡夫のみ

十七条憲法（聖徳太子）

いつでも自分が正しいとは限らない。そしてまた、いつでも相手が間違っているとはかぎらない。
お互いに間違いをしでかしやすい凡夫同士ではないか。

これは、ある小学校の先生から聞いた話ですけれども。

この先生が放課後、自分の教室へ見回りに行った。そうしたら教室の中で受け持ちの子供二人が喧嘩けんかやっている。それでその先生が「おい、おまえら何やっている。どうしたんだ」と聞いた。それから子供の一方が「こいつが悪いんです。こいつが」と言って相手を指さす。そうすると指さされた方の子供も「僕じゃない。こいつの方が悪いんです」と逆に相手を指さして言った。

それで先生がそれを見て、「そうか、お前たちはお互いに自分は悪くない。自分はいいい子で、悪いのは相手だ」ところで喧嘩けんかやってるんだな。わかった。だけどな、

お前たちも五年生にもなってるんだから、はたして本当に相手だけが悪くて、自分は悪くないと言いきれるかどうか。いっぺん胸に手を当ててよく考えてみる。

これから先生は一時間ばかり職員室で仕事があるから、お前たち何か思い当たることがあったら、職員室へやってこい」と、こう私はヒントと時間を与えて職員室へ戻りました。

そうして一時間ほど経って二人の子供が肩を並べて職員室へやって来た。「お、何かわかったか」と聞いたら、やって来た子供が「あれからよく考えてみたら、僕の方にも悪い点がありました」とこう言う。「そうか、自分が悪かったということがわかったか」



「お前はどうか？」と、もう一人の方々に聞いたら、もう一人の子供も、「自分の方にも悪い点がありました」と